

# 進路便り

第3号 2022年7月7日(木)

佐賀県立佐賀東高等学校 進路指導部

1学期も終わりに近づいていますが、自分の進路について真剣に考えていますか？そして将来、自分達にどのようなことが求められているか知っていますか？

現在、日本が目指すべき未来社会の姿に「Society5.0」という言葉があるように、あらゆる場所でデジタル技術が活用され、AI・ロボットとの共生の在り方に対する関心が高まっています。みなさんは、2015年にオックスフォード大学と野村総合研究所の共同研究で、「10～20年後に、日本の労働人口の約49%が就いている職業は、AIやロボットに代替される可能性があり、高い自動化リスクにさらされている」という研究結果が発表されたことを覚えていますか？下は、その研究における代替可能(自動化可能)性の高い職業と低い職業の例です。

○代替可能(自動化可能) 確率が99.7～99.8%と高い職業

⇒電車運転士、経理事務員、一般事務員、包装作業員、レジ係、製本作業員

○代替可能(自動化可能) 確率が0.1%～0.2%と低い職業

⇒精神科医、作業療法士、言語聴覚士、外科医、小児科医、メイクアップアーティスト

実際、2022年までにこの確率に関する統一の見解はなく、確率が高いから必ず無くなり、確率が低いから必ず無くならないというわけではありません。しかし、みなさんが将来を考える上で、過去にこのような研究結果が発表されていることを知っておくべきだと思います。

今年の5月、経済産業省が、「未来人材ビジョン」を公表しました。そこには、これからの時代に必要となる能力やスキルは、基礎能力や高度な専門知識だけではなく、以下のものであると書かれています。

- 常識や前提にとらわれず、ゼロからイチを生み出す能力
- 夢を手放さず一つのことを掘り下げていく姿勢
- グローバルな社会課題を解決する意欲
- 多様性を受容し他者と協働する能力

みなさんは、このような能力やスキルを意識して自分の将来を考えたことがありますか？現在の日本では「注意深さ・ミスがないこと」、「責任感・まじめさ」が重視される傾向にあります。しかし、今後は「問題発見力」、「的確な予測」、「革新性」が一層求められます。そして、あらゆる人が時代の変化を察知し、能力やスキルを絶えず更新し続けなければ適応できないと言われていています。野村総合研究所の発表した未来年表によると、2050年までにAIが人間の能力を追い抜き、自ら学習・行動し人と共生するロボットが実現すると予測されています。今後は、このような新たな未来を牽引する人材が必要となってきます。みなさんがその人材に少しでも近づくためにも、高校卒業後の進路は、自分の好きなことにのめり込むことができるところを選択してください。そして、その進路先で豊かな発想や専門性を身に付け、多様な他者と協働しながら、新たな価値観やビジョンを創造してほしいです。

最後に、みなさんは、未来を切り拓く素晴らしい可能性を秘めています！！

進路指導部 志賀 友哉

## これからのおもな進路行事

7/9 土曜講座 (全学年)	8/19 マナー講座 (3年)
7/12 職業理解ガイダンス (1年)	8/23 赤松小学校交流 (2・3年)
7/16 進研模試 (全)	8/23 国際医療福祉大学体験 (全)
夏季休業中 インターンシップ (2年)	8/25 マナー検定 (3年)
7/25～ 夏季補習 (全)	8/27 県下一斉模擬試験 (全)
8/17～ 夏季補習 (全)	8/28 県下一斉模擬試験 (3年)
8/18 就職推薦会議 (3年)	

英文にチャレンジ!!

Chair: Today's discussion is about how younger people should communicate with the elderly.

We invited three panelists: Dr. McDonald, a medical doctor, and Mr. Johnson and Ms. West, who are researchers specializing in gerontology, or the study of the elderly. Mr. Johnson, can you start our discussion?

Mr. Johnson: Certainly. I often notice people communicate in a particular way with the elderly. People exaggerate their ways of speaking, for instance, by using a loud voice. Sometimes people speak as if they were talking to a child, but I wonder if older people really like this. In my observations at senior centers, even doctors and nurses employ this particular way of speaking. However, I wonder if this is a good way to communicate with them.

Chair: That's an interesting observation. You're saying that 1.

- ① doctors and nurses often use too many technical expressions
- ② many elderly people are comfortable when they speak to doctors
- ③ medical professionals also speak differently to the elderly
- ④ some people can't communicate without speaking like children